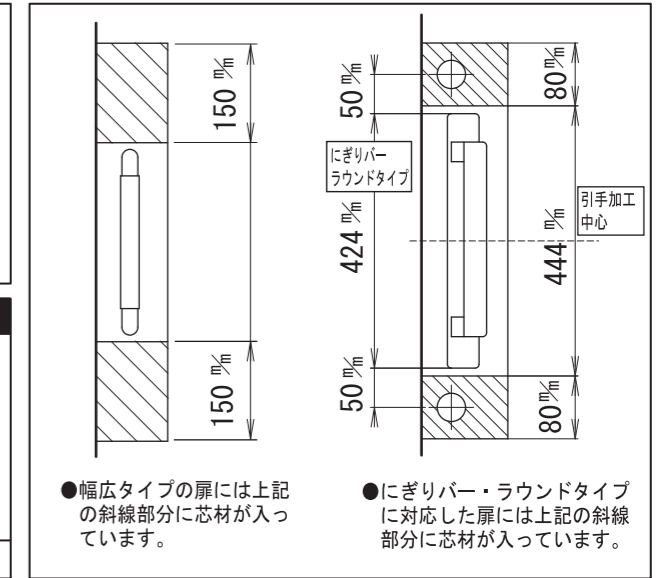
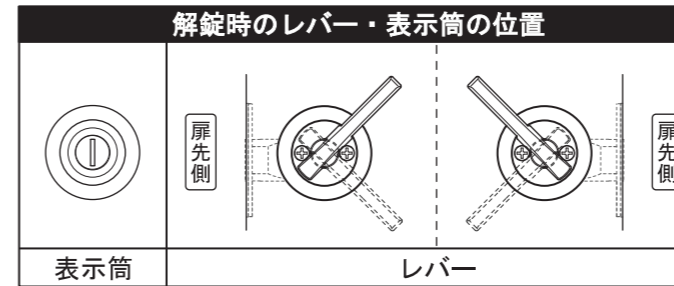


施工上の注意

- ・滑り止め付き手袋をご使用下さい。金具等で手を切る恐れがあります。
- ・ねじは、説明書に従い確実に締め付けて下さい。締め付け不良のまま使用すると、錠が正常に作動しなくなる恐れがあります。
- ・錠を分解したり、改造したりしないで下さい。部品でケガをしたり、錠が正常に作動しなくなる恐れがあります。

使用上の注意

- ・錠及び引手・レバーの表面を金属装身具などで傷を付けない様注意して下さい。傷の部分から変色・腐食する恐れがあります。
- ・錠及び引手・レバーの洗浄には酸性・アルカリ性のなどの化学洗剤・薬品などを使用しないで下さい。変色・腐食の原因になります。
- ・鍵穴に油を差さないで下さい。油はホコリを吸着し、かえって鍵の動きが悪くなります。



- 1. チューブラーケースの取付け**
 - ① △マークを上にして、チューブラーケースを扉に挿し込んで下さい。
 - ② ケースフロントをマーク刻印を上にして取付け、ねじで固定して下さい。
- 2. 引手の取付け**
 - ① 角軸を室外側引手の表示筒の角穴に挿し込んで下さい。
注) 鍵付間仕切錠の場合は、角軸は引手に組込まれています。
 - ② 表示筒の角軸をチューブラーケースの角穴に挿し込み、室内側引手のレバーの角穴に合わせた上で、ねじで仮締めします。
注) レバー、及び表示筒の向きは、上図の位置に合わせて下さい。
 - ③ レバーを回転させ、施錠の作動が確実に行なわれているか確認し、ねじを締め付けて下さい。
注) 電動ドライバー等は使用しないで下さい。ねじを締め過ぎると、錠の動きが悪くなる場合があります。
- 3. 調整ストライクの取付け**
 - ① 隙間調整ねじを上にして、ストライクを枠側にねじで固定して下さい。
- 4. 扉と枠の隙間調整方法**

扉と枠にガタツキがある場合は、隙間調整ねじをドライバーで回し隙間調整を行なって下さい。
注) 調整ねじを回す時は、電動ドライバーは使用しないで下さい。

